

報告事項 議題提案書

議題名：G20 Civil Summit (C20) 参加報告

【提案者氏名、所属】

氏名：堀内 葵

所属：(特活) 国際協力 NGO センター

【議題提案の背景】

2013年6月13日-14日にロシア・モスクワにて、G20 Civil Summit (C20) が開催され、NGO関係者を中心に350名を超える参加者が集まった。同年9月にサンクトペテルブルグで開催されるG20(金融世界経済に関する首脳会合)に向けて、事前に市民社会の提言を作成する会議である。プーチン・ロシア大統領のシェルパが参加し、NGOとの対話を実施した。C20では「経済成長と市民社会」、「持続可能な開発：社会的・包摂的な開発、経済成長、生態学的持続可能性」、「ポスト2015年開発目標」、「将来のG20サミットアジェンダに向けた市民社会の提案」などのテーマが議論された。最終日にはC20運営委員会と議長国代表であるプーチン大統領との面会も実現した。

市民社会はG20の首脳に対し、「C20とG20の中期協働戦略の策定」、「法の支配・権力のバランス・情報公開に基づいた協働」、「雇用の確保と就労教育」、「財政サービスへの参入と教育」、「財政システムの適切な規制」、「環境の持続可能性」、「MDGs達成とポスト2015年開発アジェンダにおける収入格差の是正・食料安全保障および栄養の確保・税の透明性・公平な財政システム・より良いガバナンス・政治的腐敗への対処・社会保障の重点化」などを提言している。JANICもC20に参加し、アジア諸国のNGOプラットフォームが結成したネットワークである「アジア開発連盟(ADA)」のメンバーと共同で「G20の成長アジェンダに平衡性を据えるべき」などの提言書を発表した¹。

ロシア政府はC20運営委員会と協力し、C20の円滑な運営に努めたほか、NGOの渡航費用を負担するなど、積極的にNGOとの連携を進めている。また、2014年にオーストラリア政府がG20の議長国を務める際に、C20の枠組みを継続することを打ち出しており、今後のG20/C20のあり方について一定のルールが整備されつつある。

日本政府も将来的にG20およびG8の議長国を務める際に、他国の先行事例にならい、NGOとの対話・連携をさらに推進すべきであると考える。

【事前質問】

- (1) ロシアG20において、焦点となる議題は何か。
- (2) ロシアG20において、日本政府が提案する議題は何か。

【出席を希望する外務省部局または担当者】

国際協力局、経済局政策課

以上

¹ 提言書は別紙参照。